

ニュートラル・インジケータ遅延表示の原因

／6シリーズ以降の5速TMニュートラルスイッチは底部に設置されています。結露や速度計ケーブル取り出し部からの雨水浸入によって水分は底部に溜まり、攪拌されるため乳化白濁します。新鮮なオイルは比較的サラサラしていますが攪拌乳化したオイルは時として粘りの強い性質に変わっています。

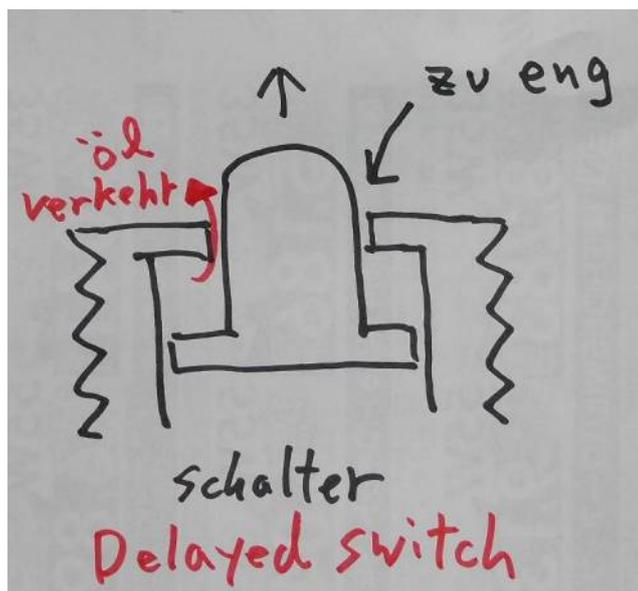
エンジン始動前などでニュートラルなのにインジケータが点灯せず、クラッチを握らないと始動できなかつたりすることがあります。エンジンが充分温まると時間差で点灯したりします。

原因は粘度の高い白濁オイルがスイッチ内に入り込んでニュートラルになってもスイッチ内からオイルがスムーズに排出されないためです。リアサスペンションなどのショックアブソーバーと同じような状態になっています。

エンジン温度が上昇するとオイル粘度が低下するので反応時間が短くなりいくぶん改善します。ギアボックスオイルを交換してもスイッチ内に浸入した白濁オイルは抜けないので回復しないこともあります。最終的にはスイッチ交換が必要です。



社外伊太利亜製スイッチ



内部構造 SCHEMATIC

CRIMECA